

## 令和5年度 第1回 米子市児童文化センター運営委員会 発言要旨

### 1. 令和5年度改修工事の内容変更について

(事務局)

物価高騰による影響を受け、今年度の工事規模が事務室のみに縮小・変更となり、予定していた休館は実施しないこととした。運営委員会終了後、児童文化センター及び市のホームページで広報させていただく。また、例年貸館を利用している作品展関係者へは個別に電話をし、対応させていただく。今年度実施出来なかった工事箇所については、次年度以降改めて対応していく予定である。

### 2. コロナ5類移行に伴う今後の運営について

(事務局)

コロナ禍の影響により事業の中止及び縮小が続いていたが、落ち込んでいた利用者数の回復へ向け、様々な事業を実施しながら、施設運営に取り組んでいきたい。

### 3. 利用者アンケートについて

(委員)

「やや不満」で挙げられた部分についての具体的な中身は何か。

(事務局)

- ・接客対応に関するものであった。カウンター業務に不慣れな職員があったため、柔軟に対応することができなかったと考えられるため、現在、先輩職員が実践しながらの指導(OJT)を行っていくこととした。
- ・各部屋の設備内容については建物が古いという内容のものであった。
- ・安全管理については具体的内容が記入されていなかった。

### 4. 令和4年度事業報告について

(委員)

新規事業として挙げられているもののうち、市民あるいはこどもの保護者からの要望で実現したのはあるか。

(事務局)

令和4年度新規事業については、利用者から要望として挙げたものはなく、いずれも職員企画である。

(委員)

- ・職員の企画能力も必要であるが、子ども達は何をしたいのか、何を望んでいるのか、聞き取り等を行い、柔軟に応じながら、事業展開して行っていただきたい。
- ・市内には事業として連携・共催の出来る場所がいくつもある。幅広く情報収集を行い繋がりを持っていただきたい。そういった場所と子ども達の要望を合わせ、事業展開をしていくことで、新たな年齢層の来館も望めるようになるのではないかと。

## 5. 令和4年度モニタリング結果について

(委員)

自己評価及び二次評価を受けて、今後評価を上げていきたいものはどこか。

(事務局)

「サービスの質の評価」の「利用者満足度」の項目である。利用者アンケート、及び月毎の事業報告書、月例報告書に記載されている一つ一つの課題に対し、改善策を確実に講じて、一層、安心安全な事業対応をしていきたい。直接関わった方々からの意見を吸い上げていくことが、他の項目の質の向上にも繋がっていくと考える。

## 6. その他

(委員)

事業の参加申し込みに二次元コードの導入を提案したい。

(事務局)

申し込み時に必要な情報に事業ごとに様々なケースがあるため、整理して汎用性の高いものにしていこうと準備を進めているところである。

(委員)

児童文化センターは、プラネタリウムだけでなく、非常に使い勝手の良い施設であるということを広報して行っていただきたい。

※児童文化センターは、令和5年3月1日、昭和58年の開館以来40周年を迎えました。

令和5年3月26日には、開館40周年記念式典を、無事執り行うことができましたことをご報告させていただきます。

日頃より、児童の健全育成のためにご尽力いただいている皆様に心より感謝し、御礼申し上げます。

以上。